

# 総合教育会議（第3回）会議録

1 開会年月日	平成31年2月21日（木） 午後5時2分
2 場 所	笠岡市役所 市長室
3 出席委員等の氏名	笠岡市：市長 小林嘉文 教育委員会：教育長 岡田達也 教育委員 三谷信恵, 石井啓弐, 藤谷幸弘, 山下敬広
4 欠席委員等の氏名	なし
5 会議に出席した者の職・氏名	こども部長 福尾雅俊, こども育成課長 松尾千鶴 教育総務課長 黒田英樹, 同課長補佐 古宮 誠, 学校教育課長 高橋伸明
6 議事案件及び会議の概要	<p>1 開会</p> <p>2 挨拶 小林市長 岡田教育長</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 幼保再編計画（修正案）について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前回の総合教育会議で協議した修正ポイントを具現化したものが今回の修正案である。</li> <li>①中央部エリアの笠岡幼稚園を幼保連携型認定こども園に2024年度（平成36年度）を目途に移行</li> <li>②島しょ部エリアの受入れ施設として、南部エリアの外浦保育所を幼保連携型認定こども園に2023年度（平成35年度）を目途に移行</li> <li>③平成31年度入所の子どもの卒園保証をするため幼稚園は平成33年度末まで、保育所は平成35年度まで存続</li> <li>④全体的なスケジュールを延ばすため2024年度（平成36年度）までに認定こども園に移行することとした。</li> <li>⑤今後に対応を検討することとした北木西幼稚園を含めて18施設を9施設に再編整備する。</li> <li>⑥16ページに「Ⅲ 計画の推進」を追記し、認定こども園への移行に向けた公立幼稚園・保育所の運営、関係機関等の連携、計画の管理・見直しを記載。</li> <li>・ 今後のスケジュールとして、本修正案を子ども・子育て推進会議や議会の総務文教・環境福祉の両委員会に示し、年度内に公表</li> <li>・ 新設は（仮称）神島認定こども園のみ。富岡認定こども園の新設は財政上厳しいとの認識。</li> </ul> <p>(2) 小中一貫教育の今後のスケジュールについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年10月から平成30年10月まで計7回、笠岡市教育審議会を開催し、平成30年12月に「小中一貫教育の推進 答申書」が提出された。</li> <li>・今年、平成31年1月には笠岡市PTA連合会主催で「小中一貫教育の推進 答申書」の説明会を実施。</li> <li>・今後の予定として、(1) 笠岡市小中一貫教育推進計画（仮称）の素案を今年の8月末を目途に作成したい。その過程で、5月あたりから市役所内での検討会を複数回開催するとともに、各学校・保護者・地域の方々との意見交換会を随時で実施し、その結果を踏まえ9月頃からパブリックコメントを実施し、年明け平成32年1月に実施計画を公表。</li> <li>・(2) 小中一貫教育推進のスケジュールとして、3ステージで検討。第1ステージは平成31年度から平成33年度までを連携教育から一貫教育への移行期。平成33年度は第7次笠岡市総合計画で一貫教育の実施を目標としている年度。</li> <li>・第2ステージは、平成35年度末までに学校規模適正化計画の推進・完了。</li> <li>・第3ステージは、平成40年度までに施設一体型小中一貫教育校の準備・開校を目指す。</li> </ul>

- ・学校規模適正化の対象は今井小・陶山小・島しょ部の3中学校に加え、複式学級が発生しそうな新山小。北川小と小北中もいずれ対象となり得るが、小北中は矢掛町との組合立であり当面保留。
- ・平成33年度スタートを目指し、カリキュラムの試作版を市教委事務局が作成。各中学校でアレンジ。
- ・幼保再編整備計画を参考に、素案公表の前に保護者・地域との意見交換会を実施。
- ・一体型小中一貫教育校をつくる際には、既存のある学校に統廃合するのではなく、(仮称)神島認定こども園のように期待の持てる新たな施設をつくりたい。
- ・笠岡東中と大島中のどちらでも通学できる大島地区の選択区域をどうするかも今後の検討課題。
- ・笠岡市の教育の質を確保するためにも、協力に小中一貫教育を推進する。

(3) 旧学校給食センター及び旧大島東小学校のその後について

- ・前回の会議では旧学校給食センターを解体撤去し、富岡認定こども園新設までは富岡幼稚園や体育センターの駐車場として利用する計画だったが、解体費用が8千万円と多額で財政が厳しいので、土地・建物をセットで売却する方向で市役所内部は検討している。買い手がつかなければ翌年度解体。
- ・総合教育会議で議論して決まったことを、教育委員に相談無く方針転換するのは非常に遺憾である。
- ・小学校の一角にあることを踏まえ、種々のリスクを十分に検討されたい。
- ・教育委員からの意見を庁議に伝える。
- ・旧大島東小学校については、地元と一緒に校舎を利用してクラフト工房として利用したいとの話があり、どのような形で貸すことが出来るかを庁内で検討中。
- ・市としてはオフバランスしたいので譲渡したいが、軌道に乗る間は当面保有せざるを得ない。

4 その他


- ・地域興し協力隊員1期生で笠岡市に残る隊員や在任中の地域興し協力隊員の活動内容について


4 閉会年月日


平成31年2月21日(木) 午後6時49分


上記会議のてんまつを記録し、関係図書を添付して、その相違のないことを証するため、署名押印します。


令和元年5月23日

笠岡市長 小林嘉文 

教育長 岡田達也 

教育委員 三谷信恵 

教育委員 石井啓弐 

教育委員 藤谷幸弘 

教育委員 山下敬広 